

App Bridge Release Note

App Bridge Ver. 1.13.0 のバージョンアップ内容を以下に示します。

お客様がバージョンアップ機能を利用するためには、変更区分で示される作業が必要となります。

変更区分	変更機能を利用するために必要な作業	備考
C1	なし	センタの変更のみで利用可能です
W1	Windows Agent の導入、入れ替えが必要です	
W2	API コマンドの導入、入れ替えが必要です	Windows PC に導入するツールです
W3	連携サービスの導入、入れ替えが必要です	
L1	Linux Agent の導入、入れ替えが必要です	

1. 監視機能の拡張

1.1 TCP ポート監視の新設【C1:インターネット監視】【W1:イントラネット監視】

応答監視に TCP ポート監視を追加しました。応答時間の監視、統計情報の取得も可能です。

1.2 CloudWatch 連携機能の新設【W2:連携設定に API コマンドを使用】

Amazon CloudWatch で発生したアラームを App Bridge Monitor に連携する機能を追加しました。

1.3 メッセージ登録コマンドの拡張

(1) API ベースコマンドの追加【W2】

API コマンドにメッセージ登録コマンド (SendErrorAPI、SendWarningAPI、SendInfoAPI) を追加しました。当該コマンドは Rest API を利用し、App Bridge Monitor Agent がインストールされていない環境から通知メッセージ登録を実施できます。

(2) メッセージ登録コマンドの追加【L1】

App Bridge Monitor Linux Agent に、拡張型メッセージ登録コマンド (SendErrorEx、SendWarningEx、SendInfoEx) を追加しました。

(3) メッセージ登録コマンドの送信制限緩和【W1】【L1】

メッセージ登録コマンドの送信制限 (1 時間当たりの送信可能件数) を変更する機能 (コマンド) を追加しました。これにより、利用者が送信制限を環境に応じた値に設定できます。

1.4 通知メッセージのカスタマイズ機能の追加【C1】

通知メッセージのカスタマイズ機能を追加しました。これにより、利用者が登録した書式に従って通知メッセージが作成され、電子メールの件名、本文に反映されます。

1.5 SQL Server 監視の拡張【W1】

従来 of SQL Azure 監視に加え、SQL Server 監視機能を追加しました。本拡張は、Windows Agent に対し実施され、Windows Agent が稼働するサーバ内の SQL Server を対象としています。

2. 管理機能の拡張

2.1 ユーザロールの拡張【C1】

ユーザロールに NodeAdmin（ノード管理者）を追加しました。各ロールの権限は以下のとおりとなります。

ユーザロール	監視結果の閲覧	監視条件の設定	Agent 設定	ノードの登録、除外	ユーザの登録、除外	課金情報の閲覧
EnterpriseAdmin	○	○	○	○	○	○
NodeAdmin	○	○	○	○	—	—
ServiceAdmin	○	○	○	—	—	—
User	○	—	—	—	—	—

3. 小規模な機能拡張及び不具合対応

3.1 監視センタ【C1】

#	対象	内容
1	通知メッセージ	<p>以下の変更を適用しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 保持期間の仮定値を 30 日→60 日に延長しました ● 同一種の通知メッセージの書き込み抑止条件を「1 分間に 5 件」から「1 分間に 10 件」に緩和しました ● 通知抑止条件に、通知メッセージの作成要否を設定可能としました。通知メッセージの作成を否となった場合、通知メッセージ書き込み抑止の対象となりません ● エラー、警告、及び情報メッセージの通知メッセージの抑止キーとして、通知コードを追加しました。これにより、異なる通知コードのメッセージは通知メッセージ書き込み抑止の対象となりません ● センタ発信メッセージの仕様を変更しました ● ハートビート回復メッセージを通知対象としました ● センタ発信メッセージの仕様を選択可能とし、下位互換を選択可能としました
2	電話発信	<p>以下の変更を適用しました</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 読み上げ項目を追加し、監視項目などを発信するよう拡張しました ● ユーザの電話番号登録で電話発信確認を追加しました ● 電話通知先のリトライ処理にインターバル（分）を設定可能としました。

3.2 Web サイト【C1】

(1) 全般

#	対象	内容
1	全般	Firefox 57 (Quantum) 以降、ボタンやコンボボックスなどで、一部の文字が表示されない問題に対応しました
2		表形式において、罫線表示のコントラストを変更しました。これにより、列幅の変更が容易となります

(2) 監視照会

#	対象	内容
1	電話発信状況一覧	電話発信が一覧で照会できる画面を追加しました
2	バグ対応	統計情報詳細のステータス一覧キー列のリンクから遷移したとき、キーコンボボックスの選択値が反映されない問題を修正しました

(3) 監視設定

#	対象	内容
1	オーナ基本設定	「センタメッセージバージョン」を追加しました
2	カスタム監視エラー判定条件設定	「設定する」チェックボックスがオフのとき、追加ボタンを無効化し、削除リンクを非表示とするよう変更しました。
3	通知振分条件一覧	「順序番号を 10 番刻みで振り直す」ボタンを追加しました
4	電話通知先詳細	「発信順序番号を 10 番刻みで振り直す」ボタンを追加しました

3.3 Windows Agent 【W1】

#	対象	内容
1	フレームワーク	以下の変更を適用しました ● 前提条件を .NET Framework 4.5 以上に変更しました
2	テキストログ監視	ログ出力先が単一ログファイルであり、バックアップファイルが別名で作成されるログローテーションパターンに対応しました
3		タイムスタンプのみ更新、ファイルサイズ減少を検知した際のファイル全体読込を設定可能としました
4	Service Control	一般オナーの未送信データ有無確認を可能としました
5	バグ対応	テキストログ監視でファイル読込中にファイルが追記された際、ファイルを先頭から読み込みする問題に対応しました
		プロキシ設定にて、Use Proxy Server のチェックオフ、Proxy Server Port #を空値とした状態で登録すると例外が発生する問題に対応しました
		バージョン 1.10.0 未満のエージェントから監視設定を引き継いだ場合、監視が正しく動作しない問題に対応しました
		SmartInstall で、Azure SQL Databases 監視設定が存在状態でオナーを変更すると、例外が発生する問題に対応しました
		SendWarningEx、SendInfoEx において、引数-c (通知コード) の仮定値に誤りがある問題に対応しました

3.4 Linux Agent 【L1】

#	対象	内容
1	テキストログ監視	ログ出力先が単一ログファイルであり、バックアップファイルが別名で作成されるログローテーションパターンに対応しました
2		タイムスタンプのみ更新、ファイルサイズ減少を検知した際のファイル全体読込を設定可能としました
3		マルチスレッド化し、処理効率を向上しました
4		サブフォルダ下にあるテキストログファイルの監視を可能としました
5		1 度の監視機会に複数のエラー行を検知した際、検知の都度監視データを生成するよう改善しました
6		テキストログ行に対する判定条件の評価順を、①除外条件、②エラー条件から、①エラー条件、②除外条件に改めました
7		エラー条件、及び除外条件の利用開始日時、利用終了日時をテキストログレコードごとの判定時刻で評価するよう改善しました
8		テキストログ監視設定の登録コードを半角英数字のみに制限しました
9	ディスク容量監視	ステータスのキー名称を選択可能としました
10	バグ対応	テキストログ監視で、ファイル読込中にファイルが追記された際、ファイル先頭から読み込みする問題に対応しました
11		ディスク容量監視、及びメモリ監視にて、サービス開始直後の初回判定で、最新のエラー判定条件が適用されない問題に対応しました
12		ucsagentd のスケーリングサーバ Agent 監視設定同期で例外が発生した場合、当該スレッドが終了する問題に対応しました
13		ucsagentd の停止時に全てのスレッドの終了を待たない問題に対応しました
14		ucswatchd のエラー判定条件同期で例外が発生した場合、当該スレッドが終了する問題に対応しました
15		ucswatchd の停止時に全てのスレッドの終了を待たない問題に対応しました
16		TCP 通信が CLOSE_WAIT の状態で残り、多くのファイルディスクリプタを消費する問題に対応しました

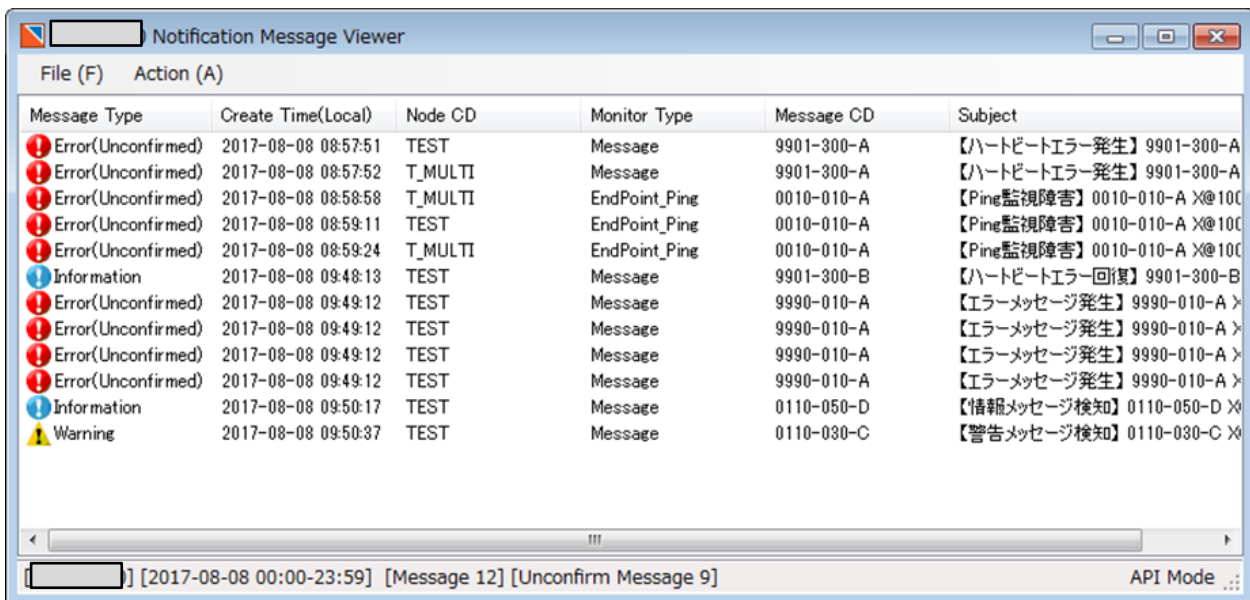
3.5 API 【C1】

#	対象	内容
1	メッセージ登録 API	通知コードの様式（仕様）を緩和しました
2	メッセージ既読設定	API を新規に追加しました
3	ユーザー一覧取得	User 権限での参照を可能としました

3.6 API Tools 【W2】

#	対象	内容
1	StatsDownload	TCP ポート監視統計情報のダウンロードに対応しました
2		引数-uk を追加し、ステータス Unknown のサーバ統計情報を取得可能としました
3	MessageDownload	通知メッセージのダウンロードコマンドを追加しました
4	通知メッセージビューア	通知メッセージビューア（Windows 版）を追加しました。これにより、大量通知メッセージの操作が容易となります

【通知メッセージビューア】



3.7 通知連携サービス 【W3】

#	対象	内容
1	通知連携サービス設定	設定中、数秒ごとにマウスアイコンがアワグラスになる問題に対応しました

以上